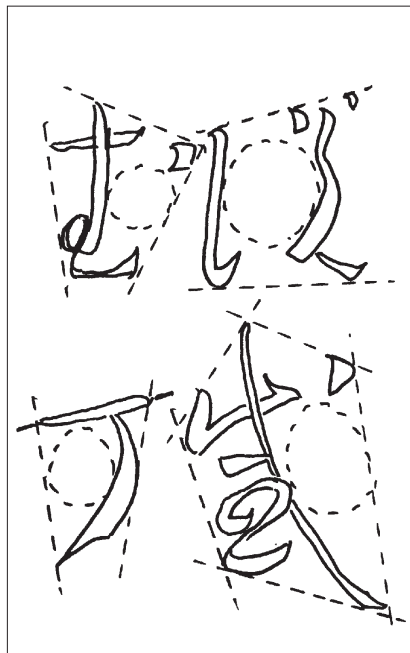


◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料440円

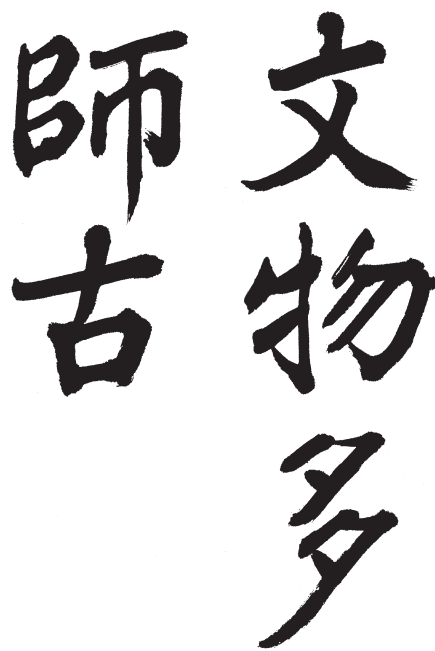


草書千字文・唐 懷素

- 1、字句||説感武丁
- 2、形式||半紙タテ使用。右に「説感」、左に「武丁」と臨書し、左余白に「○○臨」と調和を工夫して書き入れる。
- 3、概観||草書とは異なって多様な表情を表現することができる。同じ線で同じ形の書は二度と書けぬことが書の真実であるが、特に草書にはその傾向が強い。なかでも、懐素の千字文は意表をつく大胆な余白を創る。今回の課題をみれば、偏と旁の間に広い余白をとる「説」、左側に線をまとめ、右に広い余白の「感」、点を離すことによる余白の「武」、「丁」は画数が二画だが、縦画を右に寄せ左に余白をとる等。懐素の千字文は、このような工夫が多く見られる。但し、文字のバランスが乱れていないのも大きな特徴。
- 4、各字のポイント
 - 説 言偏を縦一画にするのは多く見られるが、旁は限界まで省略。中央の広い余白に留意。
 - 感 右への斜画がかなり左側に寄り、右側に余白をつくる。終画の点は離れた位置に打ち、バランスをとる。
 - 武 二画目の結びを下にし、終画の点が絶妙の位置に書かれバランスをとる。
 - 丁 一画目右肩上がり、二画目右寄りの位置から入筆し、右側にふくらませ左に払う。左側に大きな余白。

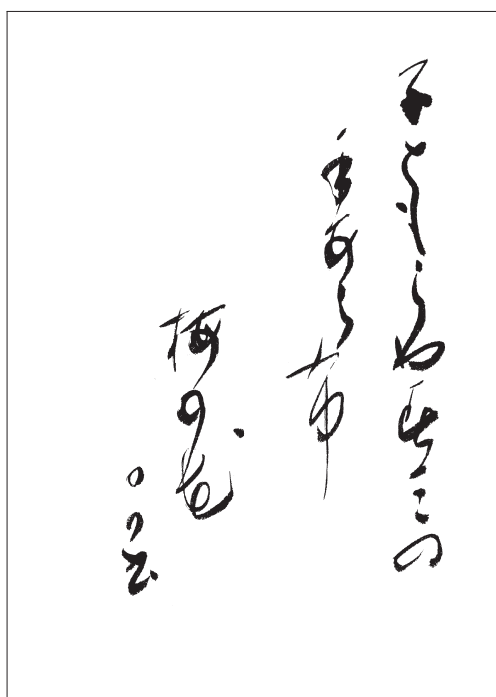
半紙課題(予告) (二月二十二日締切)

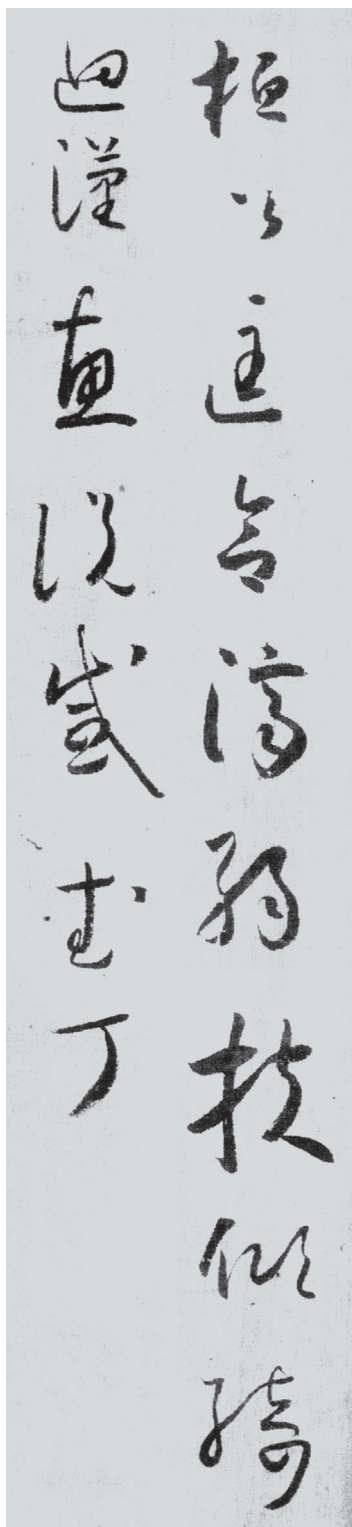
平岡華雪先生書 文物多く古を師とす(杜甫)



訳：文化にかかわるものは古い時代を手本とする。

平岡華雪先生書 こともらや墨の手あらふ梅の花(犀屋)





桓公匡合。濟弱扶傾。綺廻漢惠。說感武丁。
桓公は匡合し、弱きを濟い傾けるを扶く。綺は漢惠を廻し、説は武丁を感じしむ。
齊の桓公は諸侯を集めて世を正しくし、弱きを助け、勢いの傾いた者を支えた。綺里季など四人の賢人は、漢の惠帝を太子の位にもどし、傳説という人は武丁、すなわち殷の高宗を感動させた。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粹可。随意部半紙は無料。

条幅部は一枚目無料、二枚目から五五〇円。
バーコード券に「条臨」とご記入下さい。名簿は条幅部で「臨」と表示されます。

一字書（二月二十二日締切）

課題

望

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に
一字と記入 段級は無記入

条幅部漢字課題参考

(一月二十二日締切)

A

高橋香樹会長書

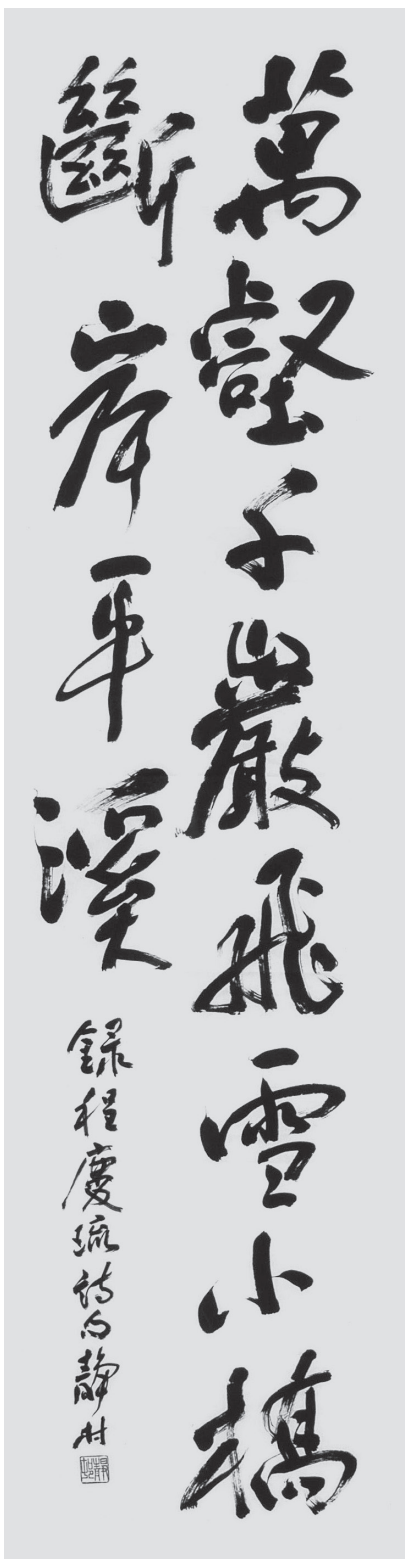
萬壑千巖飛雪 小橋斷岸平溪 (程慶琉)
 萬壑千巖飛雪 小橋斷岸平溪



B

鈴木静村先生書

今回は六言一句・十二字二行書。「飛」「平」以外は全て行書とし、連綿線無し単体作とした。一行目八字二行目四字としたが、「断」の末筆を長く伸ばし、字数の少ないのを補った。十二字の場合は、文字の大小や落款を工夫する等が必要かと思う。墨継ぎは「雪」と「岸」。



萬 末画の点、古典(行書)には殆どなし。壑、巖 行書体多い、字典参照。小 点の間合いに注目。断 正字の多画に挑んでほしい。岸 墨継ぎ。溪 黄山谷を借用。落款、「録作者名詩句 ○○」の形式は初めて、録は「書」の意。この場合は雅号(本名)のみとし「書」は省く。この書き方、よく覚えておいてほしい。
 訳：多くの谷や多くの岩に飛雪が降りかかり、小橋はきり岸や平らかな谷にかかる。

予告 (二月二十二日締切)

寒梅向暖商量白

舊草迎春接續青 (唐伯虎)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

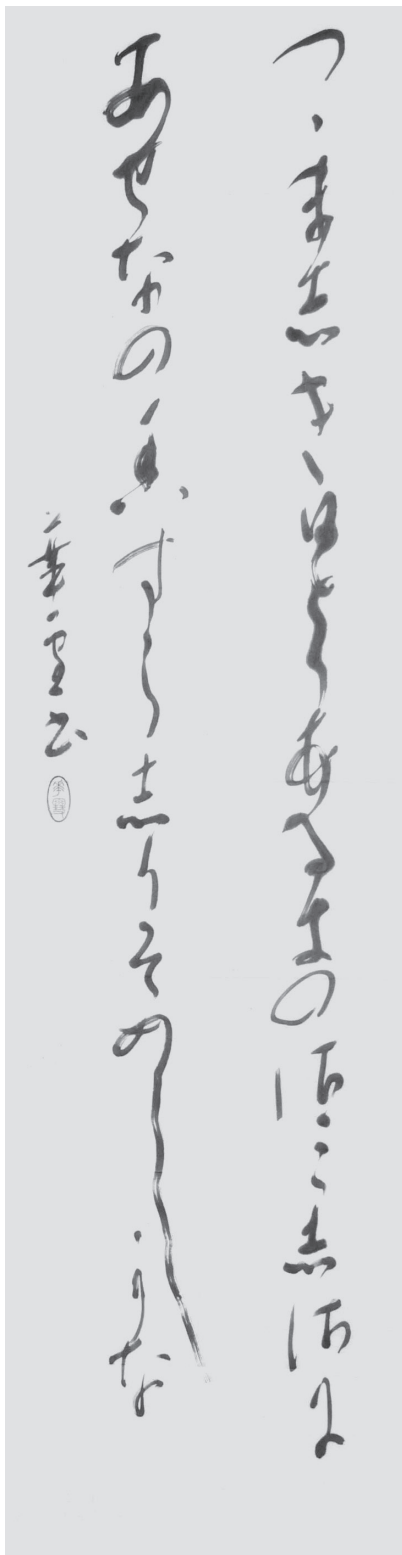
条幅部かな課題参考

(一月二十二日締切)

A

平岡華雪先生書

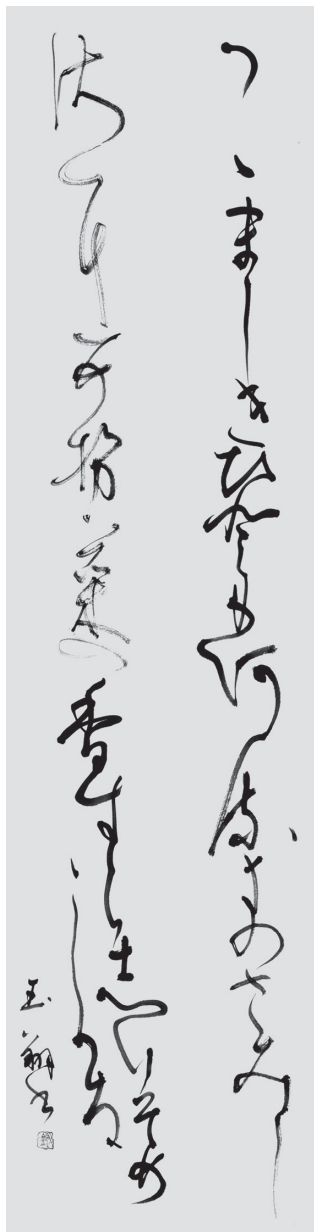
つつましきひとりあるきのさみしさにあぜ菜の香すら知りそめしかな (北原白秋)
 つつましき日とりある支の佐三志佐尔あせなの香すら志りそめしかな



B

福田玉翔先生書

つつましきひ登利阿流支のさみし佐耳あ勢菜の香すら志りそめしかな



北原白秋

一八八五〜一九四二(明治一八〜昭和一七)年。

早稲田大学で若山牧水

(十月号掲載)と懇意になり歌集を出しました。

短歌以外にも『この道』

『ベチカ』『待ちぼうけ』

『ゆりかごの歌』『砂山』

『松島音頭』『からたちの

花』『ちゃつきり節』『城

ヶ島の雨』など多数の耳

慣れた唱歌を作詞して

います。

学び方

今回は半切に短歌を三行でまとめました。しかし三行目は二行目に添わせて半切二行書きのイメージは崩さないようにします。一行目の下部の「阿」と「流」の連綿線をお洒落に流しましたが成功か否か。もっと中心を通した作品も書きましたが、少し遊び心のある方を選びました。本に掲載する際には、渴筆は印刷には不向きですから墨量が多めにしてあります。出品される時はそこを考慮して墨量が多すぎないように注意してください。

予告 (二月二十二日締切)

み吉野は山もかすみて白雪のふりにし里に春は来にけり (新古今和歌集)

摂政太政大臣)

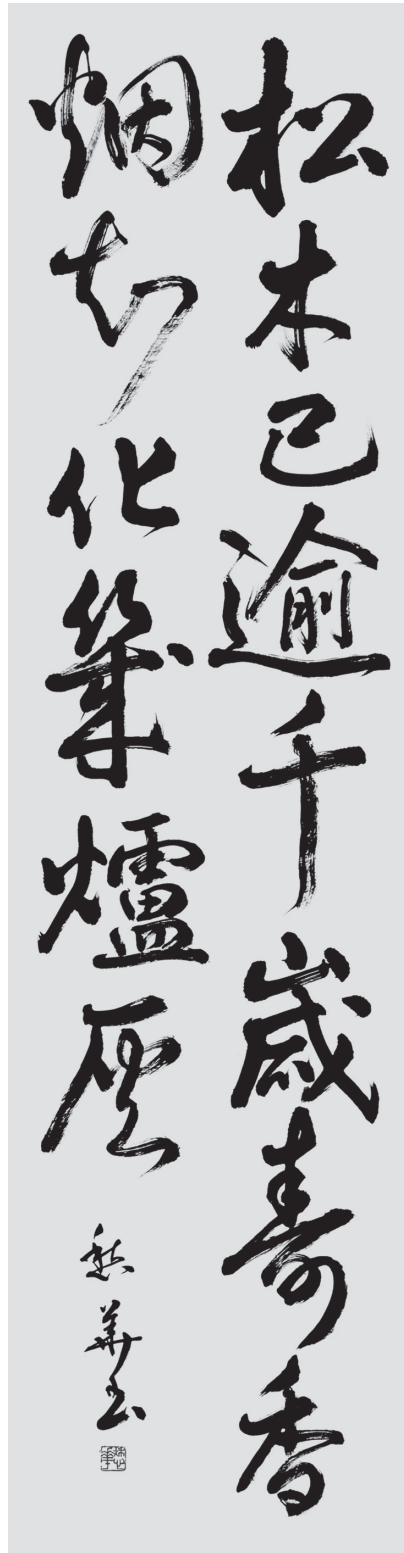
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部 随意参考

石田 愁華 先生書

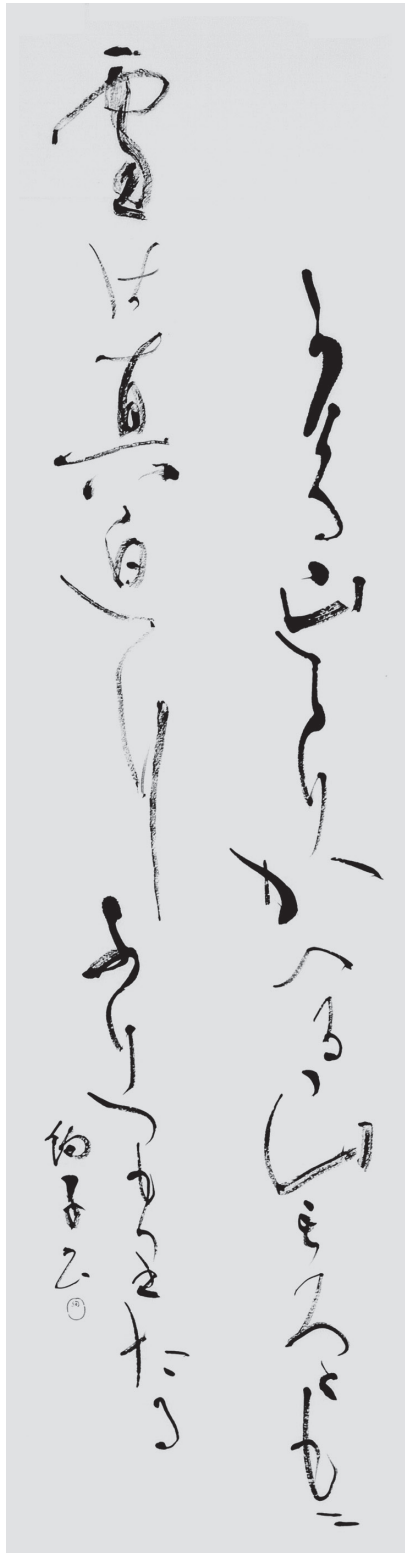
松木已逾千歳壽 香烟知化幾爐灰 (陳允平)
 松木已に逾ゆ千歳の寿、香烟幾炉の灰と化するかを知る。



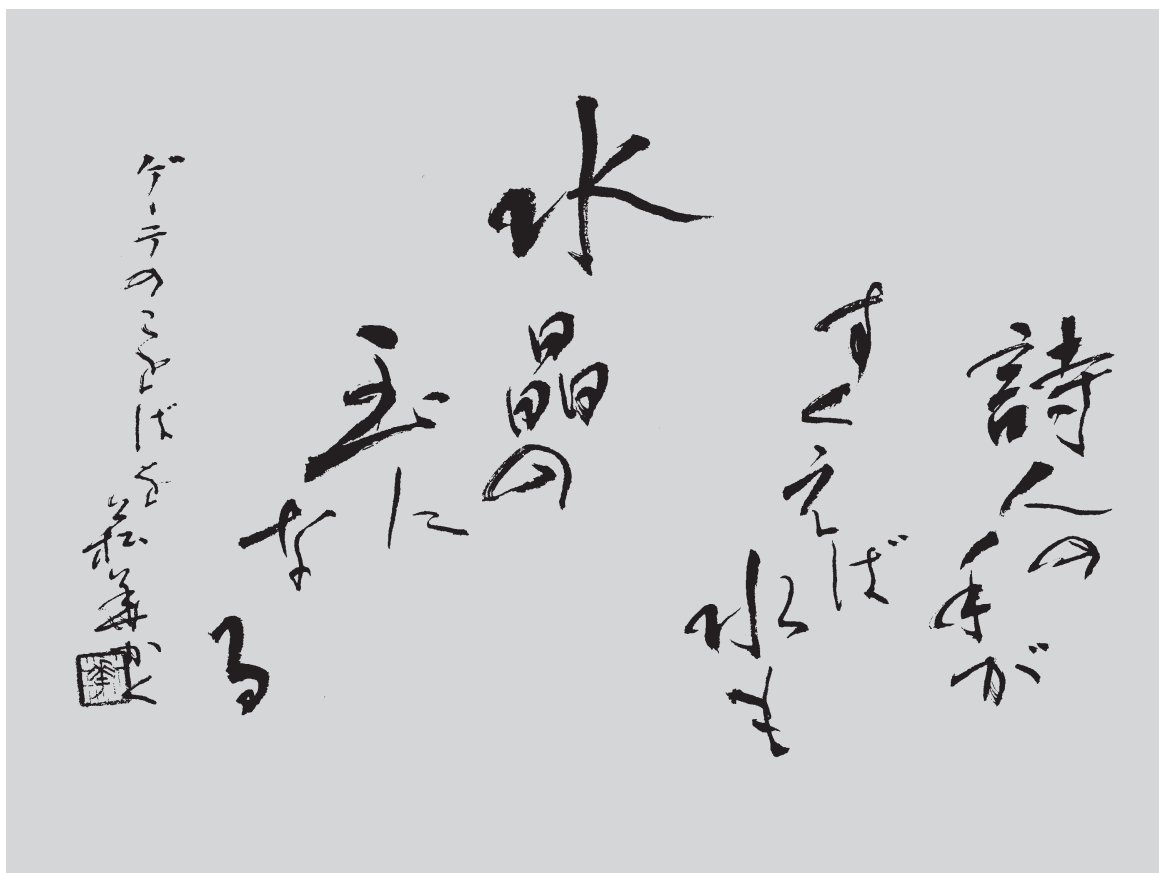
訳：青々たる松の木は既にもう千歳もたつていようが、香火は烟となって消え幾炉かの灰となってしまった。

宮 絢子 先生書

かげる山てりかへる山もろともに雪は真白に降りつもりたる (斎藤茂吉)
 可介る山てりかへる山毛ろとも二雪は真白に降りつもりたる



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)



小暮 崧華 先生書

詩人の手がすくえば
水も水晶の玉になる

『水晶の玉』ゲーテ

高田敏子詩集『暮らしの中の詩』に引用されているゲーテの詩です。若い日に出合ったこの詩句が「お母さん詩人」といわれる原点と述べています。短いですが、意味合いの深い詩句です。

これを二つに分け

。書き出し「詩人の手が」は大き目に、「すくえば水も」上部から添わせるように。

。中央部斜めに余白をとり、そのままつづけて「水晶の」を大きく、かすれを出し「玉」で墨つき。

。一文字の中に太細を、落款まで気脈を通ず。

ゲーテ (一七四九〜一八三二)

ドイツの詩人、作家、自然科学者、政治家、法学家。『若きウェルテルの悩み』などで疾風怒涛運動の旗手として活躍。

戯曲『ファウスト』『エグモント』叙事詩『ヘルマンとドロテア』自伝『詩と真実』等。

高田敏子 (一九一四〜一九八九)

東京生まれ旧制跡見女学校卒。二十歳で結婚。商社員の夫と、ハルビン、天津、台湾に住む。帰国後、家事の中、現代詩人のグループに入る。『野火』創刊。詩集『月曜日の詩集』『藤』『夢の手』他多数。室生犀星賞、現代女流賞。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位) に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



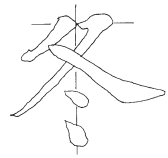
平岡華雪先生書

冬嶺孤松秀つ (陶潜)

訳：冬の山嶺に一本松が秀でている。

〈概観〉

右行、「嶺」は画数が多いが、形はとりやすい。「冬」「秀」二字も字形は一般的。図示を参考にされたい。

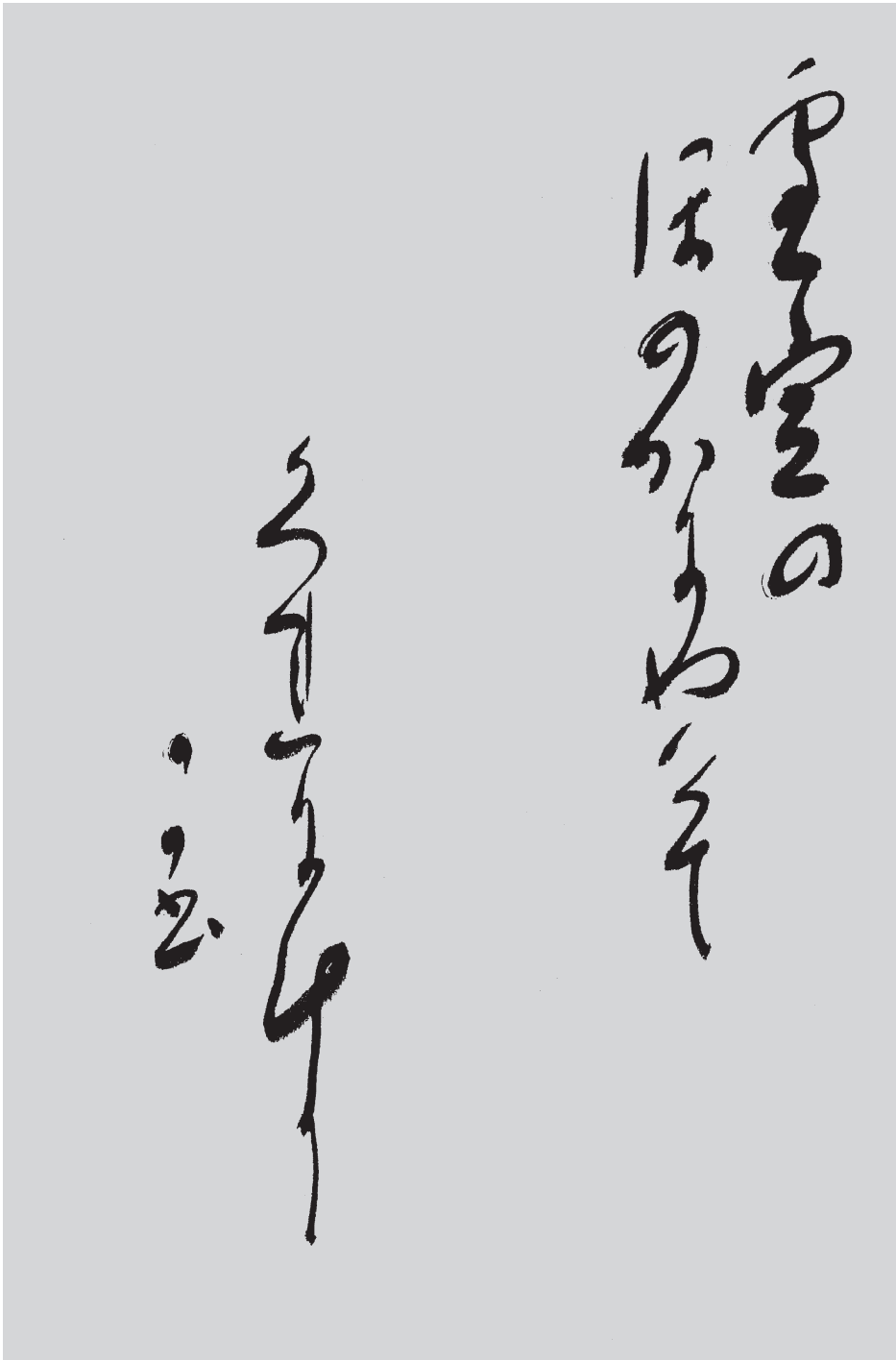


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。
①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

雪空のほのかに焼けて暮れにけり(都穂)

雪空のほのか^にカルヤ^介て久連^れけり



〈各行の観点〉

「雪空」手本通りに見て書くと誤字になり易い。特に、「空」。必ず「字典」で調べてほしい。「ほのか^にカルヤ^介て」、「ほ」の次、「^くや」の次で「間[※]」の呼称を。「のか^にカルヤ」は強調のアクセントを。下の句「久」墨つき、一気に連綿。「けり」で、^に「け」は強め、「り」は穂先で引き締めた。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三 体 参 考

内藤 香 瑶 先 生 書

抗言談在昔（陶淵明）
抗言 在昔を談る。

抗言談在昔
抗言談在昔
抗言談在昔

香 瑶 書

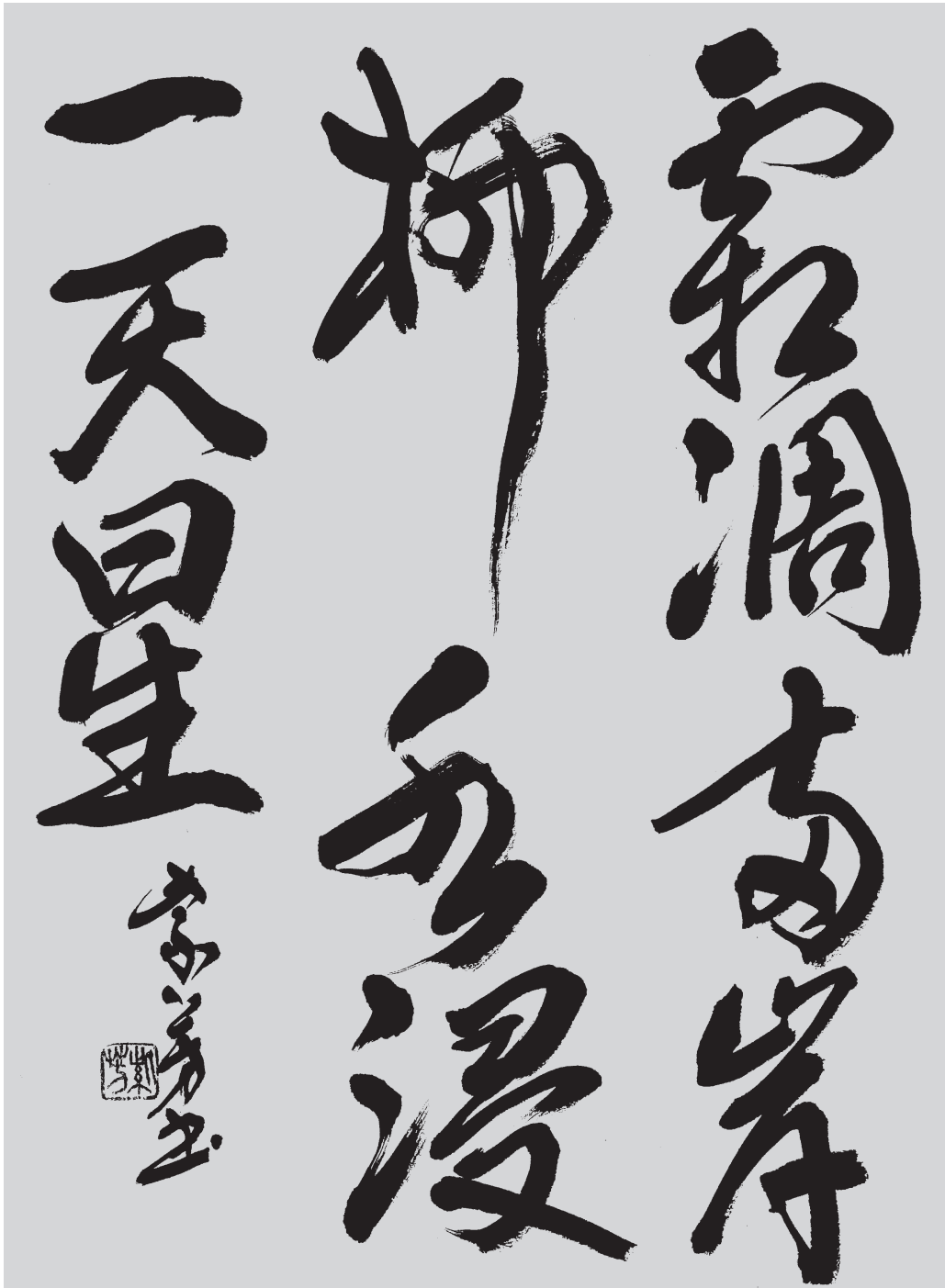

訳：そのたびに昔ばなしに声はずむ。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円。

随意部参考

高橋紫芳先生書

霜^{しも}凋^{そこな}兩岸^{りょうがん}柳^{やなぎ} 水^{みず}浸^{ひた}一天^{いつてん}星^{ほし} (陸放翁)
霜^{しも}に凋^{そこな}う兩岸^{りょうがん}の柳^{やなぎ}、水^{みず}は浸^{ひた}す一天^{いつてん}の星^{ほし}。



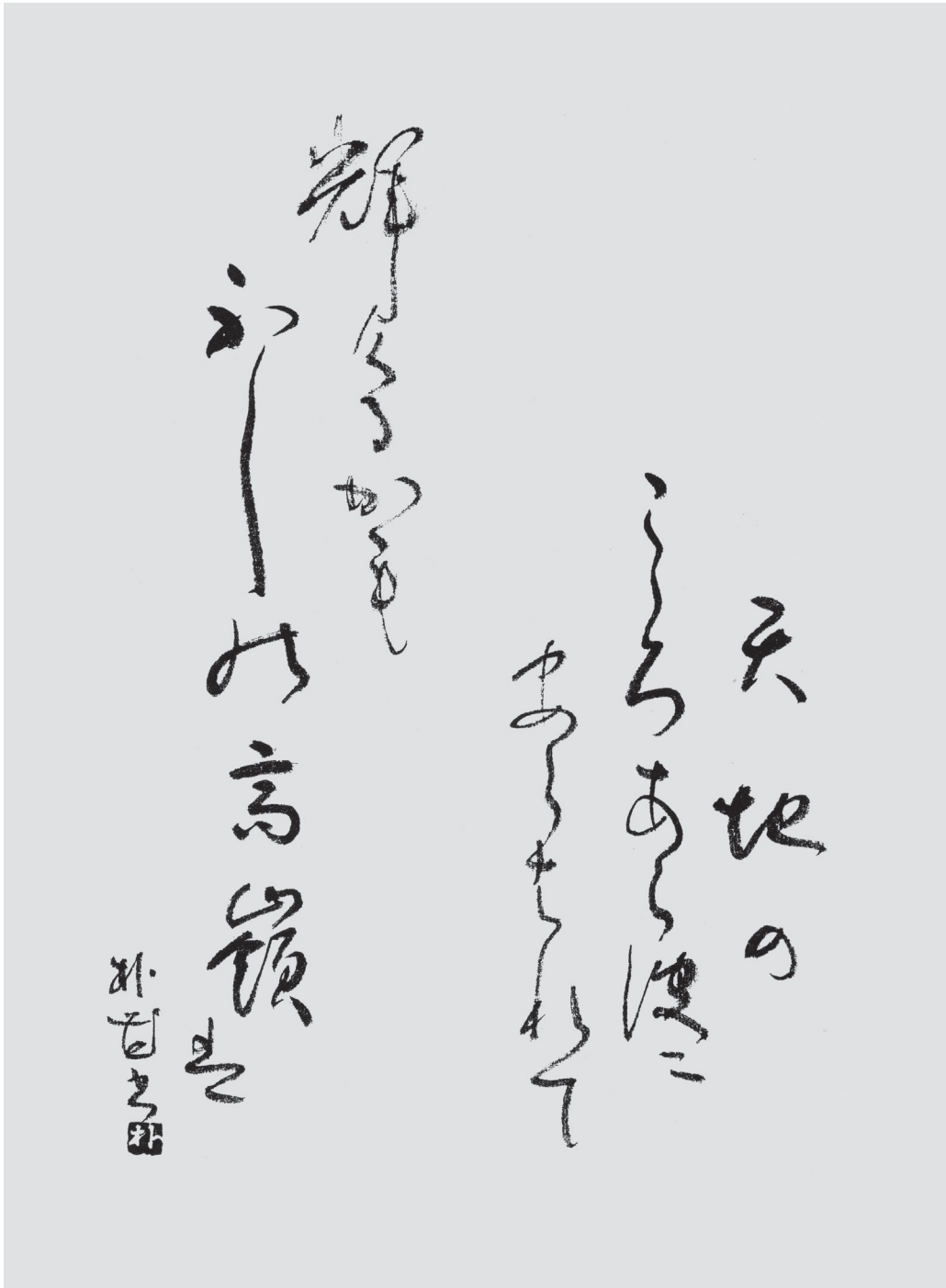
訳：霜は夜毎に降って川の兩岸の柳を枯らし、寒げの水には空一面の星の影をひたしている。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

随 意 部 参 考

向
山
朴
花
先
生
書

天地のころあらはにあらはれて輝けるかも富士の高嶺は（若山牧水）
天地のころあら波二安ら者れて輝介るか毛ふし能高嶺盤



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

硬筆部 課題参考

(一月二十二日締切)

赤木典子先生書

川上香蓉先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

汽車旅行で窓から遠く見える
山を一つ一つ確認して行くのは、私の
大きな楽しみである。

雪の結晶は驚くべく繊細な形を
とって、くまぞに見た写真のどれ
とも比較にならぬ位の美しさを
見せていた。

課題 1 (初段階以上)

雪の結晶は驚くべく繊細な形をしていて、今までに見た写真のどれとも比較にならぬ位の美しさを見せていた。

『雪の話』中谷宇吉郎

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に、次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題 2 (初段階以下)

汽車旅行で窓から遠く見える山を一つ一つ確認していくのは、私の大きな楽しみである。

『日本百名山』深田久弥